

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すみだ福祉保健センター みつばち園		
○保護者評価実施期間	令和6年 10月 1日		令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	73	(回答者数) 49
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 1日		令和6年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○訪問先施設評価実施期間	令和6年 12月 9日		令和7年 1月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 27
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	心理職が児童の在籍保育園等を訪問して、保護者・訪問先保育園等へ支援を行っている。	心理面からのアプローチを重視している。 担当職員を1名増員した。	訪問回数の増加、利用希望に応じた職員体制の確保
2	保護者が保育所等訪問支援のみの利用を選択できる。	保護者の都合等により療育利用が難しい児童への対応として、単独利用を開始した。	保護者・訪問先のアンケート結果も参考にして、訪問支援の充実を図る。
3	発達専門職種が揃っている。	訪問担当職員は事業所内において、必要時には、より専門性の高い相談やアドバイスを受けることができる。	事業所内でのカンファレンスの充実

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問回数増加の要望があるが、訪問支援希望が多いため、児童あたりの訪問回数の確保が難しい。	訪問支援希望の増加 児童の状況に応じた効果的な訪問支援と訪問回数の検討 担当職員の育成	訪問支援希望が増加する中で、R5年度に担当職員を増員した。今後もより多くの児童に利用して貰えるよう工夫する。
2	訪問支援は増加しているが、保護者や保育園等が知らないためか、利用に偏りがある。	訪問支援の意義・内容等について周知すること。	リーフレット等を配布して、保護者に事業周知を行っている。 保育園等とは、公開療育を通じて事業の周知を図っている。
3	報告面談の調整に時間を要することがある。	保護者の方のお仕事の都合等から報告面談の日程調整に時間を要することがある。	オンライン面談による報告面談の実施の検討を行っている。